

2023年5月16日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

川崎市との連携による 中小企業におけるサステナビリティ経営の推進

T & D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗^{きたはら むつろう}）は、川崎市（市長：福田 紀彦^{ふくだ のりひこ}）から「令和5年度SDGs経営普及・啓発支援事業^{*1}」を受託し、川崎市内の中小企業におけるSDGs経営の普及に向けて連携することとなりました。

近年、政府による2050年カーボンニュートラル宣言等、社会の持続可能性に対する関心が高まっており、SDGsへの取組みは、大企業だけでなく中小企業にも大きな経営課題になりつつあります。

当社は、2021年より中小企業におけるSDGs経営の実践を後押しする「サステナビリティ経営支援プログラム」（別紙参照/以下、「本プログラム」）を実施しており、本年3月に策定した「サステナビリティ推進計画」において、2025年に向けたアクションプランの一つに位置付けています。

川崎市は、2019年「SDGs未来都市^{*2}」に選定されるなど全庁一丸となってSDGsの取組みを進めている先進的な自治体であり、本事業への取組みは官民連携の相乗効果を生み出し、中小企業へのSDGs経営の推進を一層加速するものです。

今般の連携では、当社が本プログラムで培った実践的な支援ノウハウに加え、当社が有する全国の中小企業との豊富なネットワークやお客さまへの総合支援態勢を活用し、市内の中小企業におけるSDGs経営の実践を後押しするとともに、今後の全国的な展開につなげることで、「サステナブルな社会の実現」を目指してまいります。

【イメージ図】

川崎市のSDGs経営
普及・啓発支援事業
の全体像

<目的> SDGs経営に取り組む中小企業数の増加



^{*1} 「令和5年度SDGs経営普及・啓発支援事業」は、川崎市経済労働局イノベーション推進部が、川崎市の中堅・中小企業におけるSDGs経営に取り組む割合の向上を目的に公募型プロポーザル方式で受託者を決定し実施する事業です。

^{*2} 「SDGs未来都市」とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を国が選定する認定制度です。

以上

【ご参考】 大同生命サステナビリティ経営支援プログラム

中小企業におけるサステナビリティ経営を支援するプログラムとして、「**DAIDO Sustainability INITIATIVE**」を2021年11月より開始しました。本プログラムでは、地域や業種を超えて、様々な中小企業経営者がサステナビリティ経営の意義を共有し、技術やアイデアを持ち寄ることで、温暖化や気候変動等の社会課題に関するソリューションの活用や、新たな企業間連携の創出を目指しています。



プログラムの開始以降、SDGsに関心を持つ企業と、取組みに資する技術・サービスを持つ企業との商談を数十件にわたり設定しています。

商談を実施した企業の中からは、新商品の開発や、サービスの導入など、最新技術の採用に向けた具体的な検討が進められており、プログラムを起点としたSDGsへの取組みが生まれつつあります。